



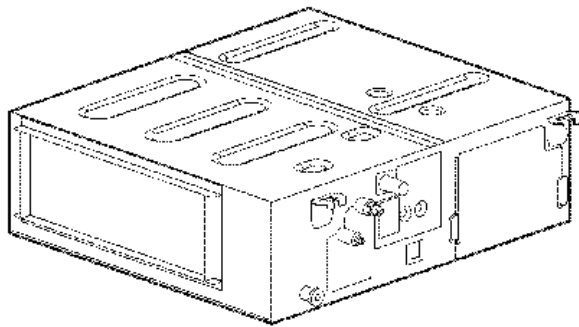
取扱説明書

パッケージエアコン

スカイエア

〈セバレート形〉

天井埋込ダクト形



室内ユニット

R32冷媒シリーズ

FHMMP50DC	FHMMP112DC
FHMMP63DC	FHMMP140DC
FHMMP80DC	FHMMP160DC

- このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
お読みになったあと、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず貼着してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- この取扱説明書は室内ユニット専用ですので、室外ユニットおよびリモコン付機の取扱説明書をあわせてご覧ください。
保証番号は買の上りの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

ご使用前に	
安全について	
必ずお読みください	1
ご使用前に	
必ずお読みください	2
各部の名前と働き	2

運転について	
運転の特性	2
複数台同時運転の場合	3
上手な使いかた	3

お手入れについて	
お手入れのしかた	
ヒヤのお手入れ	4
シーズン初め・終わりのお手入れ	4

知っておいてください	
調子がおかしいときは	5
別売品について	7
製品の種類と運転音	8
安全にお使いいただくために	8
アフターサービスと保証について	9
お客様ご相談窓口	裏表紙

ご使用前に

運転について

お手入れについて

知っておいてください



上手に使って上手に節電

安全について

必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みの上、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	誤った取扱いにより、死傷や財産などの重大な結果に結び付く事件が起きるもの。	 注意	誤った取扱いにより、報告を食う可能性または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。
---	---------------------------------------	---	---

●本文中に使われる「給表」の基準は次のとおりです。

 絶対にしないでください。	 ぬれた手で触れないでください。	 絶対に水にぬらさないでください。	 必ずお読みの上、お守りください。
--	---	--	--

警告 使用上の注意事項

●冷媒が漏れたら火気厳禁

室内ユニットに充填されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの取扱店にご連絡ください。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が済まに行われたことをサービスマンに確認の上、ご転送してください。



●分解や改造・修理をしない

故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの取扱店にご依頼ください。



●可燃性ガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない

ベンジン・シンナーで本体をふかない。ひび割れ・感電・引火の原因になります。



●異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する

故障のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買い上げの取扱店にご連絡ください。



注意 使用上の注意事項

●ぬれた手で操作しない

感電の原因になることがあります。



●お手入れの時は必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する

電源を遮断しないと、感電や火災の原因になることがあります。



●エアコンを水洗いしない

漏電によって感電や火災の原因になることがあります。



●高所作業をするときは足場に気をつける

足場が不安定な場合、落下・感電によりけがの原因になることがあります。



警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの取扱店にご依頼ください。



●別売品の取付けは、自分でしない

別売品は、当社指定以外のものは使用しない。取付けに不備があると、水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの取扱店またはコンタクトセンターにご依頼ください。(要表紙参照)



●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの取扱店にご依頼ください。



据付場所について

- 室外ユニットはまわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？
- 本機は高所設置用エアコンです。床面から2.5m以上の場所に据え付けてください。
- 次のような場所では使用しないでください。
 - 切削油など油物油の立ち込めるところ
 - 調理場など油の飛沫や水蒸気の多いところ
 - 浜地区など塩分の多いところ
 - 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
 - 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
 - 工場など電圧変動の多いところ
 - 車両・船舶への搭載など
 - 凍結を発生する機械のあるところ
- 室外ユニットは防雪対策されていますか？吹雪フードなど、詳細はお買い上げの取扱店へご相談ください。

電気工事について

- 電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。お買い上げの取扱店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。
- 室外ユニットはエアコン専用の回路をご使用ですか？

運転音にもせ配慮を

- 次のような場所を選んでいませんか？
 - エアコンの風口に十分配慮、運転音や振動が大きいようなところ
 - 室外ユニットの吹出口からの風や運転音が近隣の窓にならないようなところ
- 室外ユニットの吹出口近くに障害物はありませんか？居室直下による機能低下や運転音増大・騒音の原因になります。
- 使用中に異常音がする場合はお買い上げの取扱店にご相談ください。

ドレン配管の排水について

- ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？冷房運転時、ドレン配管から水漏れしていない場合は、ドレン配管でごみ・ホコリなどが詰り、室内ユニットから水が漏れる原因になることがあります。運転を停止して、お買い上げの取扱店にご相談ください。

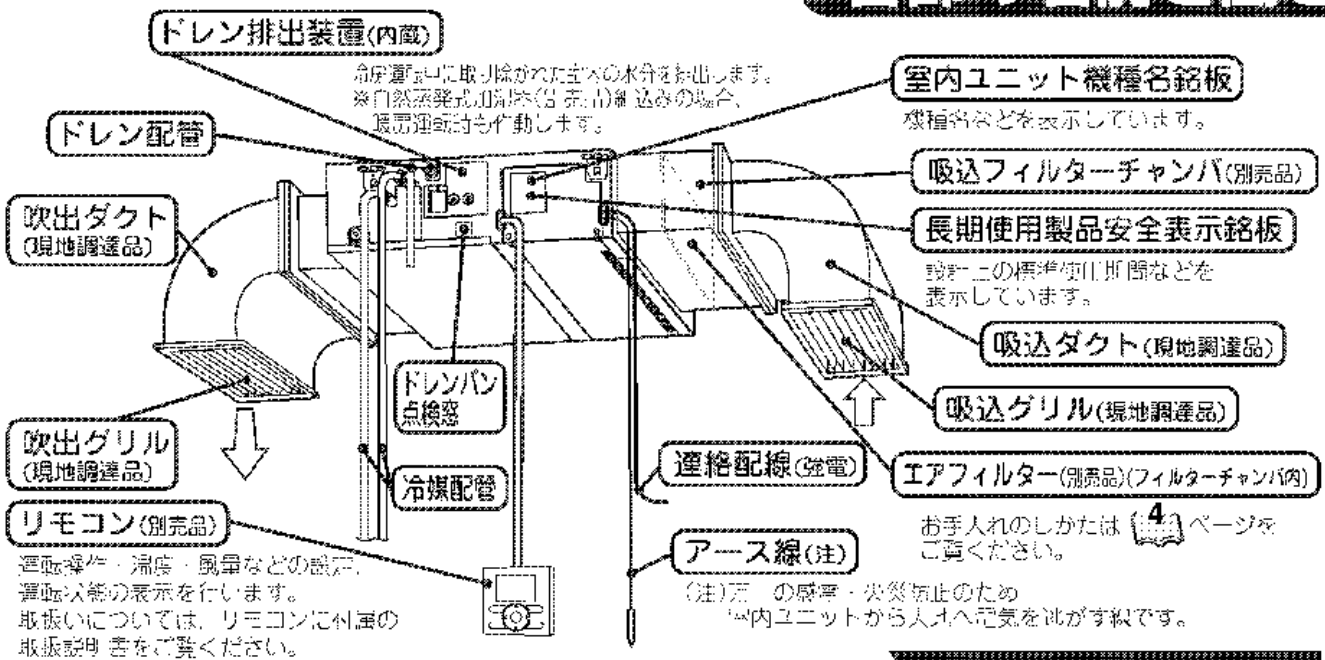
同時運転マルチシステムの説明

本室内ユニットは、次のいずれかのシステムでご使用ください。詳細はお買い上げの販売店にご確認ください。

ペアシステムの場合	同時運転マルチシステムの場合
●冷房・暖房・自動・マイコンドライ・送風運転ができます。	●冷房・暖房・自動・マイコンドライ・送風運転ができます。 室内ユニット(複数台設置2台の場合)
<p>冷暖房兼用 室外ユニット</p> <p>室内ユニット</p> <p>リモコン</p>	<p>冷暖房兼用 室外ユニット</p> <p>リモコン</p> <p>リモコンは取付け不要です。</p>

- 運転操作についてはリモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
また、ワイヤレスリモコンをご使用の場合は、ワイヤレスリモコンキットに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 同時運転マルチシステムの接続可能な台数については、お買い上げの販売店にご確認ください。

各部の名前と働き



1. 設置の準備
2. 運転の準備

運転の特性

暖房運転の特性(暖房・自動暖房運転)

運転開始について

- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を目的とした車の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転をします。

運転開始時および除霜運転終了後

- お部屋全体を暖める通風循環方式なので、運転を開始してから暖まるまで、時間がかかります。室内ユニット内部の温度がある程度高くなるまでは、 Fans は自動で微風運転をします。(リモコンには設定した風量が表示されます。)
- そのときリモコンには「除霜/ホットスタート」が表示されます。
- 室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるため除霜運転に自動で切り換わります。
- 湿風が上がり、リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。ワイヤレスリモコンの場合は、湿風が上がり、室外ユニット表示部の除霜ランプが点灯します。(リモコンには設定した風量が表示されます。)
- 約6~8分(最大10分)での運転に戻ります。
- 除霜運転中や除霜運転終了後、暖房運転に切り換わったとき、室外ユニットの吹出口から白い霧が出ます。(5ページ参照)
- 特殊な運転のため、「チュルチュル」・「シュー」音などがする場合があります。(5ページ参照)

除霜運転(室外ユニットの霜取り運転)

外気温度と暖房能力について

- 外気温度が下がるにつれて暖房能力は低下します。このような場合はほかの暖房器具と併用してお使いください。(燃焼器具と併用の場合は、十分な換気が必要です。)
- 室内ユニットの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
- 湿風が天井にこもり、下下が冷いときは、サーキュレータ(室内循環ファン)のご使用をおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。
- 室内温度が設定温度以上になった場合、室外ユニットは停止し、室内ユニットは微風運転になります。(リモコンには設定した風量が表示されます。)

冷房運転の特性(冷房・自動冷房運転)

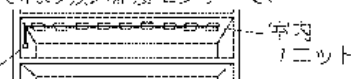

- 室内温度が低い状態で冷房運転をした場合、室外ユニット熱交換器に霜が着き冷房能力が低下することがあります。その場合、しばらくの間、除霜運転を自動で行います。除霜運転中に溶けた水が飛びのくを防ぐため、自動でコントロールされた風量(風量「弱」または微風)での運転になります。(リモコンには設定した風量が表示されます。)
- 外気温が高い場合、設定温度になるまで時間がかかります。

マイコンドライ運転の特性

- 室内温度を下げずに湿度を下げる運転を行うため、運転ボタンを押したときの室内温度が設定温度になります。そのとき風量・温度を自動で設定するため、リモコンには風量・設定温度の表示はされません。室内温度と湿度を下げたいときは、冷房運転で室内温度を下げてからマイコンドライ運転をしてください。室内湿度が下がった場合、室内ユニットの風が上まることがあります。
- 室内温度が低い状態でマイコンドライ運転をした場合、室外ユニット熱交換器に霜が着くことがあります。その場合、しばらくの間、除霜運転を自動で行います。温度が上がるのを防ぐため、自動でコントロールされた風量(風量「弱」または微風)での運転になります。

複数台同時運転の場合

複数台の室内ユニットを同時に運転できるシステムになっている場合

1つのリモコンでグループ制御	2リモコン制御
<ul style="list-style-type: none"> ●1つのリモコンで最大16台まで運転操作ができます。 ●各室内ユニットはそれぞれの検出温度センサーで、リモコンの設定温度に個別制御します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●2つのリモコンで1台(グループ制御の場合は1グループ)の室外ユニットを運転操作ができます。 

- グループ制御・2リモコン制御についての組合わせや設定については、必ずお買い上げの販売店にご確認ください。
- グループ制御・2リモコン制御についての組合わせや設定を変更される場合はご自分でなさらずに、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

上手な使いかた

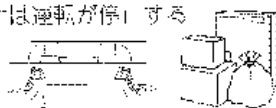
- 冷房中は直射日光を入れるのはやめましょう。窓にはカーテンかブラインドをつけてください。



- ドアや窓を開けたままにするのはやめましょう。運転効率が悪くなります。



- 吹出口・吸込口の近くにものを置くのはやめましょう。能力が低下、または運転が停止することがあります。



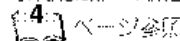
- 吹出グリルの風向羽根を水平にし、風が出るのを妨げないようにしましょう。風が出なくなり、故障の原因になることがあります。



- 冷やし過ぎ、暖め過ぎに注意しましょう。空気のムダ使いになります。



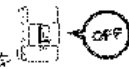
- エアフィルターはこまめに清掃しましょう。汚れたまま運転すると能力の低下・水濡れ、または故障の原因になることがあります。



- テレビ・ラジオ・ステレオなどは室内ユニットやリモコンから1m以上離しましょう。映像が乱れたり、雑音が入る場合があります。



- 長時間使用しないときは電源ブレーカーを遮断しましょう。電源ブレーカーが入っていると、数ワット〜数一ワットの電力(※1)を消費するためです。ただし、機械保護のため、再運転するときは必ず6時間以上前に電源を入れてください(※2)。



- ※1 停止中の消費電力は、室外ユニットの機種により異なります。
- ※2 設定は、電源ブレーカーを遮断する前の状態を記憶しています。(タイマー設定は別云われます。)

- タイマー運転を有効に使いましょう。室内温度が設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用し、無事に運転を開始してください。



警告

- 可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。



注意

- エアコンを水洗いしない
清潔によって感電や
火災の原因になることが
あります。
- お手入れの時は必ず運転を停止し、
電源ブレーカーを遮断する
電源を遮断しないと、
感電やけがの原因に
なることがあります。
- 高所作業をするときは足場に気をつける
足場が不安定な場合、
落下・転倒により
けがの原因になる
ことがあります。



日常のお手入れ


本機は高所設置用エアコンです。エアフィルターの清掃は専門業者にご依頼ください。

エアフィルターの清掃のしかた(エアフィルターは別売品です。)

リモコンに「フィルターのお手入れ時期です」が表示されたら、清掃してください。

- 一定時間運転すると表示します。
- 表示されるまでの時間を変更することができます。
汚れの多いところで使用される場合は
お買い上げの販売店へご相談ください。

汚れ 標準	表示されるまでの時間 2500時間(1年相当)
多い場合	1250時間(半年相当)

- 汚れがとれなくなりましたらエアフィルターを交換してください。(交換「ロングライフフィルター」は別売品です。)
 ページ参照



- 清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。
故障の原因になることがあります。(本機には、標準ではエアフィルターは付属していません。)
- 吸込口に正規のエアフィルター以外のもの(キッチンペーパーなど)を取り付けないでください。
性能が低下し、無交換の凍結・水漏れの原因になることがあります。
- 必ず別売品のフィルターチャンパをご使用ください。
フィルターチャンパの取付けは、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
- 冷房または暖房シーズン初めには必ず清掃してください。
エアフィルターにごみやホコリがたまると、風量が減って能力が低くなります。

清掃が完了してエアフィルターを取り付けたあと、リモコンの「フィルターのお手入れ時期です」の表示を消してください。

- リモコンのメインメニューよりフィルターサインリセットを行ってください。
(運転中と停止中のどちらの状態でも表示を消すことができます。)
詳細はリモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

吸込タリル・吹出タリル(現地調達品)・リモコンの清掃のしかた

- 柔らかい布でからがきしてください。
- 汚れがとれないときは、布を水でうすめた
中性洗剤にひたしてよく絞り汚れをふきとった
あと、乾いた布でからがきしてください。



- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤
などは使用しないでください。
変色や変形の原因になることがあります。
- 50℃以上のお湯を使用しないでください。
変色や変形の原因になることがあります。

シーズン初め・終わりのお手入れ

シーズン初め

確認してください。

- 室内・室外ユニットの取込(や次)1をふさいでいませんか?降雪物がある場合は取り除いてください。
降雪物は風量低下による凍結気下や融雪産物・感電の原因になることがあります。

エアフィルターを清掃してください。

- 本機は高所設置用エアコンです。エアフィルターの清掃は専門業者にご依頼ください。
- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。
- 清掃後は、電源を入れてリモコンのメインメニューよりフィルターサインリセットを行ってください。

6時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。

- 機械保護のためと、運転を円滑にするためです。
- 電源ブレーカーを入れると、リモコン表示窓に文字が表示されます。

電源ブレーカー投入後、6時間以内の暖房運転について

- 機体シリーズによっては、機械保護のため下記運転動作を行う場合があります。
電源ブレーカー投入後、6時間以内に暖房運転をした場合、機械保護のために室内ファンは約10分間停止後に運転します。
上記運転は毛付時のみでなく、電源ブレーカーをOFF/ONするたびに行います。
暖房運転をスムースに開始するために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを遮断しないことをおすすめします。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

●カビなどの発生を防止するためです。

電源ブレーカーを遮断してください。

●電源ブレーカーが入っているときは、数ワット～数十ワットの電力を消費します。

節電のためにも電源を遮断してください。

●電源ブレーカーが遮断されると、リモコン表示部の文字が消えます。

エアフィルターを清掃してください。

●本機は高所設置用エアコンです。エアフィルターの清掃は専門業者にご依頼ください。

●エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。



- 室内ユニットを数シーズンご使用になると内部の熱交換器やドレンパンが汚れ、性能低下や水漏れなどの原因になることがあります。
- 内部清掃には専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

調子がおかしいときは

次の場合は、故障ではありません。

●電源ブレーカー投入後、8時間以内の暖房運転について

機種シリーズによっては、極端保護のため下記運転を行う場合があります。

電源ブレーカー投入後、8時間以内に暖房運転をした場合、機器保護のために室内ファンは約10分間停止後に運転します。

上記運転は予約時のみでなく、電源ブレーカーをOFF/ONすることに行います。

暖房運転をスムーズに開始するために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを運転しないことをおすすめします。

	症状	原因	確認内容
運転しない	停止後、すぐに運転したとき	巻線に異音がかからないようにコントロールしているためです。	リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。 3分後に運転を自動で再開します。
	温度調節ボタンを押して、すぐ元の設定に戻したとき		リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。
	リモコンの表示画面中に「動作ボタンを押すと表示が数秒間減速するとき	集中機能により、コントロールされているためです。	表示の点滅はそのリモコンで操作できないことを示します。
	電源ブレーカーを入れ、8時間以内に暖房運転をしたとき	機器保護のためです。 (木ページ上参照)	約10分間停止後に室内ファンが運転します。 (8時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。)
	室内ユニットが停止	室内温度が設定温度に達しているためです。 室内ユニットは送風運転を続けます。	「冷房運転」：設定温度を下げてください。 「暖房運転」：設定温度を上げてください。 しばらくして運転開始すれば正常です。
	リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示され、風が止まる	室外ユニットに霜が著くと暖房効力が下がるので、除霜運転を自動でしているためです。	約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
ときどき止まる	リモコンに「H4」・「H5」と表示され、停止するが数分で運転を再開する	感熱エアコン以外の機器からの電気雑音(ノイズ)によりユニット間の通信が遮断されて停止しているためです。	電気雑音(ノイズ)がなくなると運転を自動で再開します。
風量が設定どおりにならない	風量調節ボタンを押しても風量がかわらない	〈冷房運転時〉水が凝結のを防ぐため、風量「弱」または微風運転になることがあります。	しばらくすると、風量を変えることができます。 (マイコンドライバ制御風量設定できません。)
		〈暖房運転時〉室外温度が低いときは室内ユニットは停止し、室外ユニットは微風運転になります。室外温度が高くなるまで運転が再開し、また、除霜運転中の場合は運転が再開するまで室内ユニットは微風運転を続けます。	設定風量を上げてください。 しばらくすると風量がかわります。 ページ参照
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき(加湿やホコリの多い場所)	室内ユニット内部の汚れがひどい場合に、結露ムラが生じるためです。(※1)	使用環境を確認してください。
	除霜運転中および除霜運転終了後、暖房運転に移り変わったとき	霜が溶け、湯気となって出てくるためです。	リモコンに「除霜/ホットスタート」の表示が出ていれば給霜運転中です。
音が出る	冷房時や除霜時の「シュー」という小さな送風音や除霜時の「チュルチュル」という音	エアコン内部にガス(冷媒)が流れている音です。	—
	運転開始・停止直後、除霜開始・停止直後の「シュー」という音	ガス(冷媒)の流れが止まる音または流れが変わる音です。暖房運転時は自動で送風運転に移り変わり、リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。	約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。

症状	原因	確認内容
音が出る	運転中(停止後)の「シャー」・「ジュルジュル」という音が連続音	メイン排気装置が動作している音です。
	運転中と運転停止後の「ピンピン」という音	樹脂部品が温度変化により膨縮するためです。
ホコリが出る	長時間運転後止めたあと、ふたたび運転を始めるとき	室内ユニット外部に付着したホコリが吹き出るためです。
においが出る	運転中	部屋のにおい・タバコのにおいなどが室内ユニット外部で吸い込まれて吹き出すためです。
よく冷えない	マイコンドライ運転中	マイコンドライ運転は、室内温度をできるだけ下げずに湿度を下げる運転をするためです。
		冷房運転で室内湿度を下げてからマイコンドライ運転をしてください。 【3】ページ参照


●冷房運転の特性・暖房運転の特性・マイコンドライ運転の特性(【3】ページ参照)をご覧ください。

(※1) 室内ユニットの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買い上げの販売店にご依頼ください。

(※2) ●冷房運転中に取り除かれた汗の水分を排出します。

●自然蒸発式加湿器(汎用品)が組み込みの場合、暖房運転時にも排水されます。

サービスを依頼される前にお調べください。


症状	原因	処置
まったく運転しない	電源ブレーカーが落ちたままいませんか？	●電源ブレーカーのところがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電圧ブレーカーのところがトリップ位置の場合は、電圧を入れてお買い上げの販売店にご連絡ください。 
	停電ではありませんか？	停電復帰後、再運転してください。
運転するがすぐに止まる	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰りしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 エアフィルターの目詰りは風の流れを悪くし、冷房能力や暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。また、吹出口などに結露する原因になることがあります。 【4】ページ参照
よく冷えない、よく暖まらない	吹出口・吸込口を開かずいませんか？	風が十分出るよう吸込・吹出グリルを調整してください。
	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。 障害物がある場合、風量低下や吹き出した空気を吸い込み、能力低下や機器の故障の原因になることがあります。電気のムダ使いにもなり、運転容量低下や機器が停止する原因になることがあります。
	エアフィルターが目詰りしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 エアフィルターの目詰りは風の流れを悪くし、冷房能力や暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。また、吹出口などに結露する原因になることがあります。 【4】ページ参照
	設定温度は選んでいますか？	適正な温度・風量・吹出風向に設定してください。
	設定風量が「弱」になっていませんか？	
	風の吹出方向は選んでいますか？	
	窓や扉が開いていませんか？	窓や扉をしっかり閉めてください。
	換気扇を運転されていませんか？	—
	(冷房時) 直射日光が入っていませんか？	窓にカーテン・ブラインドをつけてください。
	(冷房時) 在室人員が多すぎませんか？	—
(冷房時) 室内に熱源(OA機器など)が多すぎませんか？	—	

サービスを依頼される前にお調べください。


症状	原因	処置
運転/停止ボタンを押さないのに運転・停止した	入切タイマー運転をしていませんか？	有効/無効設定画面で「無効」を押してください。 (リモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。)
	遠方制御機器を接続していませんか？	停止を指示した集中管理室などへ連絡・確認をしてください。
	集中管理中の表示が点灯していませんか？	
	停電自動復帰を設定していませんか？	運転/停止ボタンを押して停止してください。

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。このとき、症状と機種名(保証または室内ユニット機種名/銘板(2ページ参照))をお知らせください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

 **警告**


●異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。




症状	次の処置をしてから連絡を
電源ブレーカー・漏電遮断器などの安全装置が作動する。	電源を遮断してください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源を遮断してください。
エアコンから水が漏れる。	運転を停止してください。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、別売品をご用意しております。ご購入のときには弊社純正品をご指定ください。ただし、何種類もできないものがあります。詳細はお買い上げの販売店にお尋ねください。

 **警告**

●別売品の取付けは、自分でしない
別売品は、当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、音響や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。
(裏表紙参照)



禁止

交換用別売品

- 交換用ロングライフフィルター …… 汚れが取れなくなったとき、交換してください。

別売品

- 自然蒸発式加湿器 …… 室内を適度な湿度に保ち、快適な睡眠運動ができます。
- 高性能フィルター …… 捕集しにくい微細なチリやホコリを捕集し、空気を高次元清浄度に保ちます。
- フィルターチャンバ (ロングライフフィルター・高性能フィルター) …… 吸込側にダクトを付与しないとき、エアコン本体に直接取り付けられます。ロングライフフィルターと高性能フィルターを同時に取り付けることができます。吸込側にダクトを施工するとき、フィルターの取付が容易に行えます。

製品の種類と運転音

機種		FHMMP50形	FHMMP63形	FHMMP80形	FHMMP112形	FHMMP140形	FHMMP160形
種	機	冷暖房兼用形					
	ユニット構成	分離形					
	送風機の送風方式	空冷式					
	送風方式	ダクト接続形					
類	定格冷房能力(kW)	4.5	5.6	7.1	10.0	12.5	14.0
	定格冷房能力(kW)	5.0	6.3	8.0	11.2	14.0	15.0
運転音(%)	室内(1m)	66	66	68	70	72	72

(注) ● 運転音はJIS B 8516:2015に準拠した値です。(ダクトの吹出側での値を記載しています)
● この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。


安全にお使いいただくために

- 本機は業務用エアコンです。
「点検周期」および「保守周期」の一覧にしたがい適切な保守行動を行ってください。(10 ページ表1参照)
- 家庭用として設計上の標準使用期間を越えて使用する場合は、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。
設計上の標準使用期間は長期使用製品安全表示窓板に表示しています。(2 ページ参照)
設計上の標準使用期間についての詳細は下記をご覧ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■ 本体への表示内容

経年劣化により故障の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を行っています。

	<p>※【設計上の標準使用期間】 10年</p> <p>設計上の標準使用期間を越えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に亘るおそれがあります。</p>
---	---

※ 設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や湿度など、以下の標準的な使用条件下での経年劣化に対して、製造した年から安全に支障なく使用することができる標準的な期間です。製造年は室内ユニットの機種名銘板の中に白紙4角で表示してあります。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一時的な故障を保証するものではありません。

■ 標準使用条件 日本冷凍空調工業会自主基準による

	項目	規定
環境条件	電源電圧	単相200V または三相200V
	周波数	50/60 Hz
	冷房室内温度	27℃(乾球温度)
	冷房室内湿度	77%(湿球温度19℃)
	冷房室外温度	35℃(乾球温度)
	冷房室外湿度	40%(湿球温度24℃)
	暖房室内温度	20℃(乾球温度)
	暖房室内湿度	59%(湿球温度15℃)
	暖房室外温度	7℃(乾球温度)
	暖房室外湿度	87%(湿球温度6℃)
負荷条件	設置条件	製氷の許可説明書による標準設置
	住居 部屋の広さ	木造平屋、両吹き和室、洋風 標準能力に合った広さの部屋(畳数)
統計口径		東京モデル
	1年当たりの使用日数	冷房：6月2日から9月21日までの112日間 暖房：10月28日から4月14日までの169日
	1日当たりの使用時間	冷房：9時間/日 暖房：7時間/日
	1年間の稼働時間	冷房：1,008時間/年 暖房：1,183時間/年

- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本機の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に亘るおそれがあります。

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

警告

●分解や改造・修理をしない

故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご相談ください。



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、
故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご相談ください。



禁止

●冷媒が漏れたら火気厳禁

室内ユニットに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご相談ください。
冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことを
サービスマンに確認のうえ、運送してください。

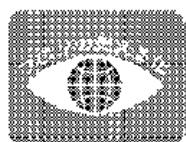


禁止

フロンについて

R32冷媒

本機にはGWP(地球温暖化係数)が675のフロン類が
使用されています。
地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄する場合には
フロン類の回収が必要です。



この表示はエアコンに窒素化ガス
(フロン類)が注入されていることを、
ご認識いただくための表示です。

■修理を依頼されるときは 次のことをお知らせください。

- 機名
 - 製造番号と挿付年月日
 - 故障状況 — できるだけ詳しく
(リモコンの表示内容もお知らせください。)
 - ご住所・お名前・お電話番号
- } 保証書に記載して
あります。

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
負担によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、この室内ユニットの補修用性能部品を製造打ち切り後10年間保有しています。

■保守点検契約のおすすめ

室内ユニットを数シーズンご使用になるとス部が汚れ、性能低下や水漏れの原因になることがあります。
分岐や内部汚損には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について

[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表1は次の使用条件が前提となります。

- ① 頻繁な運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
(機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- ② 製品の運転時間等は、1000h/年、2500h/年としています。

●表1. 「点検周期」および「保証期間」の 覧

主要部品名	点検 周期	保証期間 [交換または修理]	主要部品名	点検 周期	保証期間 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	バルブ(電磁弁・圧力弁など)	1年	20,000時間
電動機 (ファン・ドレンポンプ用など)		20,000時間	センサー (サーミスタ・圧力センサーなど)		5年
プリント基板類		25,000時間	ドレンパン(※)		8年
熱交換器		5年	リモコンおよびスイッチ類		25,000時間
電子膨張弁		20,000時間	ファン		室外:10年、室内:13年

- ※1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
 ※2. この保証期間は、製品を長く安心してご使用いただくために、保守行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保守設計(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。
 また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保守周期が短い場合があります。
 ※3. 「保証期間」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、運転・停止頻度が高いなど)や使用環境(塵埃・多湿など)がきびしくなると短縮する必要があります。
 ※建築技術法(IEビル等)の対象となる環境にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2. 「交換周期」の 覧

主要部品名	交換 周期	交換周期	主要部品名	交換 周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	3年	クランクケースヒーター	1年	3年
高性能フィルター		1年	自然蒸発式除湿器(※)		3年
ヒューズ		10年	ドレンパン詰閉剤(銀イオン)		8年

- ※1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
 ※2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保守設計(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。
 ※3. 「保証期間」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、運転・停止頻度が高いなど)や使用環境(塵埃・多湿など)がきびしくなると消費寿命が短くなる場合があります。
 ※建築技術法(IEビル等)の対象となる環境にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますのでご注意ください。

■移設および廃棄などについて

転居などでエアコンを移設・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

- この製品を廃棄またはリサイクル(回収)や材料の再利用する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・善后管理が義務付けられています。
- この製品を移設・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。

いずれの場合も、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

- 製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

■保証書について

- この製品には保証書がついています。保証書は、お買い上げの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを保管している元が大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をご覧ください。

- 保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

保証書について

お客様と相談窓口


商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問い合わせは下記の「ご購入店」へご連絡ください。

ご購入店名 _____ TEL _____ 届付年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

コンタクトセンター (お客様総合窓口)

非通知設定の方は、最初に「166」をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。

 0120-88-1081 (全国共通フリーダイヤル)
FAXでのお問い合わせ 0120-07-0881 (FAX専用フリーダイヤル)
<http://www.daikinco.com> (24時間対応ホームページ)

営業時間：24時間365日対応いたします。

対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問い合わせをお受けいたします。

(修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および販売品・消耗品・消耗部品の販売など)

1205

ダイキン工業株式会社

本社 大阪山科区中崎西二丁目4番12号 梅山センタービル
郵便番号 530-8323

東京支社 東京都港区港南二丁目18番1号 JR墨川イーストビル
郵便番号 108-0075

3PN16836-24C M15A034 (1512) 